

目標達成計画

作成日: 2021年 4月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	ケアプランと意識した関わりが不足している。入居者一人ひとりのケアプランに合った介助、一人ひとりの生活のみえる関わりが必要。	職員一人ひとりが、ケアプランを把握し、ケアプランと意識した介助、関わりと行うこととする。	ケアプランは、こまめに通り、介助職員が口で確認できる場所にはプリントアウトし、ケアプランの内容と傾向とにはマークを記入し、記録簿に添付する。	3ヶ月
2	34	救急搬送時のマニュアルがあるが、職員全員が把握することになっていない。定期的な訓練と実施し、職員全員が救急搬送、急対応に備える仕組みが必要。	救急対応の手順と職員全員が習得し、実施することとする。	職員会議で、定期的にマニュアルの確認訓練と実施する。	2ヶ月
3	4	運営推進会議について、コロナウイルス感染予防の為、各参加者の出席は1回のみで、事業所内で開催している。地域に開かれた事業運営の為、各参加者の出席を報告が必要。	コロナウイルス感染予防策ととりながら、運営推進会議と開催。又はホームの状況と報告することとする。	各参加者による運営推進会議の再編と検討する。そのための取り組みや、入居者様状況、事務進捗など、報告する。	6ヶ月
4	36	入居者様に対する言葉遣いについて、職員の態度や、入居者様への姿勢が、不適切な言葉遣いになっている時がある。入居者様に対して、入居者様にやさしい言葉遣いが必要。	入居者様に対する接遇マナーと、職員全員が身に付けることとする。	接遇マナーについて、定期的に研修し、研修、職員会議で伝える。	2ヶ月
5	49	コロナウイルス感染予防の為、外出の天候と行うための、感染予防策ととりながら、外出、外出機会を減らす必要がある。	コロナウイルス感染予防策ととりながら、日常的に、ドライブや散歩の機会と行うこととする。	コロナウイルス感染予防策ととりながら、日常的にドライブや散歩に出かける。	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の幅を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。